

『東亜』2021年4月号目次 「特集：閉塞感つもの北朝鮮」

■特集 閉塞感つもの北朝鮮

- * 原点回帰の朝鮮労働党第8回大会 磯崎敦仁
- * 2021年正念場を迎えた文在寅政権と韓国経済 福田恵介
- * 北朝鮮制裁の現状と展望 古川勝久

■ASIA STREAM (2021年2-3月)

- * 中国の動向 米国とのハイテク覇権争いを確認した全人代 濱本良一
- * 台湾の動向 台湾産パイナップルをめぐる攻防 門間理良
- * 朝鮮半島の動向 韓国大統領選挙まで1年 有力候補者の言動と浮沈 塚本壮一

■COMPASS

- * 中国の統計数字その信頼度と説得力 古谷浩一
- * バイデン政権が掲げる「中間層のための外交」と安全保障戦略 村野将
- * 予測可能性のある米中関係は可能か 高口康太
- * メガ都市バンコクのダイナミクスとジレンマ [5] 遠藤環

■燕京通信

- * 対米対立で最悪を覚悟した中国 —バイデン政権で一息 塩沢英一

■Book Review on Asia 今月の一冊

- * 『中国法—「依法治国」の公法と私法』(小口彦太著) 嵯峨隆

■Briefing Room

- * 地域統合とメンバーシップ 吉野文雄

■CHINA SCOPE

- * 米国コロナ禍での外国語学習 泉京鹿

■滄海中国

- * 中国で考える(2) —小室信介、尾崎行雄、岡千仞、そして黒田清隆 樋泉克夫

■企画連載 厳しさを増す台湾の安全保障環境 (第1回)

- * 「台湾アイデンティティ」を原動力にした蔡英文政権 門間理良

■巻頭言

- * バイデン政権の対北朝鮮政策 伊豆見元

■New Publications on Asia

■表紙写真／朝鮮中央通信 = 共同